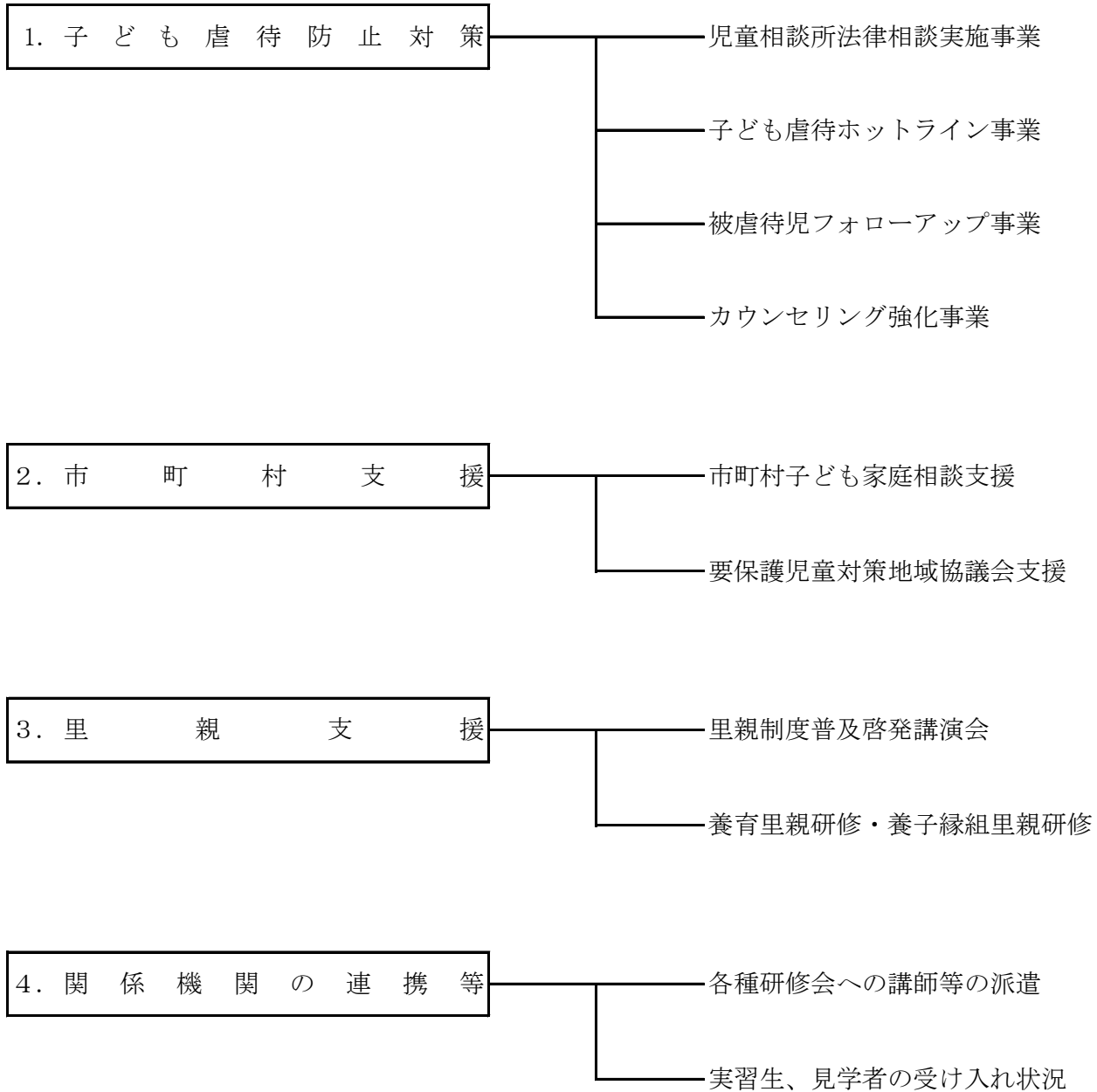


## II 児童相談所の事業等

県内の児童相談所は、地域の必要に応じて、児童の健やかな育成及び家庭・地域における児童養育を支援するための各種援助活動や第一義的な児童家庭相談窓口である市町村への後方支援等を行っている。

事業の概要等を総括すると、下図のようになる。



# 1 子ども虐待防止対策

## (1) 児童相談所法律相談実施事業

関係者が自らの虐待行為を認めない場合の法的介入、又は援助に当り法的手続上専門的な対応を必要とする場合などにおいて、迅速かつ適切な対応が出来るよう、児童相談所における相談担当弁護士を確保することにより、相談体制の強化を図っている。

平成29年度の実績はない。

## (2) 子ども虐待ホットライン

子どもへの虐待に関する通告・通報を24時間、365日受け付けるホットライン(フリーダイヤル)を各児童相談所に設置し、虐待の防止と早期発見・早期対応を図ることを目的としている。中央児童相談所には電話相談員が3名配置され、休日・夜間等は中央児童相談所が受け付ける体制としている。

表28 子ども虐待ホットライン通告者別(相談者別)受付状況

区分	家族	警察等	学校等	児童本人	福祉事務所	市町村	近隣・知人	保健所	医療機関	児童委員	児童福祉施設等	親戚	その他	計
件数	13		5	7			42		2		5	5	13	92

表29 虐待の内容と年齢別内訳

虐待の内容	0歳児		幼児		小学生		中学生		高校生		その他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体的虐待			9	6	8	7		4		3	2		19	20
性的虐待						2		1						3
心理的虐待		1	10	5	5	1		5		1			15	13
保護の怠慢・拒否		2	5	3	7	3			2				14	8
不詳														
計		3	24	14	20	13		10	2	4	2		48	44

### (3) 被虐待児フォローアップ事業

虐待経験を持つ児童やその保護者への治療的援助、被虐待経験を有する児童を指導している児童福祉施設職員への援助等を目的としてフォローアップ事業を実施している。施設職員に対する研修やケースカンファレンス、児童・保護者を対象とした個別又はグループによるカウンセリングや各種治療プログラムの実施等の取り組みを行っている。

平成29年度の実績は下記のとおりである。

表30 児童福祉施設職員指導

実施施設数	職員数	指導回数	延指導人数
5	65	20	157

表31 被虐待児集団指導

児童数	指導回数	延指導人数	スーパービジョン参加職員数
10	3	28	6

表32 被虐待児親子指導

世帯数	指導回数	児童指導延人員	親指導延人員
3	19	19	32

表33 被虐待児個別指導

児童数	指導回数	スーパービジョン参加職員延人員
3	19	21

表34 被虐待児の保護者指導

保護者数	指導回数	指導延人数
12	36	60

### (4) カウンセリング強化事業

児童虐待を行う保護者等に対して、精神科医師の協力により指導を行うものであり、平成13年4月から実施している。

実ケース数	医学診断・カウンセリング・助言の件数
58	60

## 2 市町村支援

### (1) 市町村子ども家庭相談支援

平成17年4月から市町村が第一義的な児童家庭相談窓口となったことから、市町村職員を対象とした研修の実施や市町村に出向いての巡回支援、相談ケースの対応等に関する技術的助言を行う等、市町村子ども家庭相談に関する支援を行っている。

平成29年度は研修、巡回支援の実施はない。

#### ①市町村に対する技術的助言の状況

	件数
技術的助言	18

### (2) 要保護児童対策地域協議会支援

要保護児童等に関し関係者間で情報の交換と支援の協議を行う機関として、「要保護児童対策協議会」が児童福祉法により位置づけられ、管内においては平成28年度までに全市町村に設置されている。

当所では、協議会の各会議に出席するとともに、会議の運営や協議会における対象ケースの進行・管理等について助言等を行っている。

管内市町村数	設置済市町村数	会議出席回数		
		代表者会議	実務者会議	個別ケース検討会議
5	5	4	15	11

### 3 里親支援

#### (1) 里親制度普及啓発講演会

里親制度にかかる講演会等の実施により広報活動を行い、新たな里親の開拓に取り組んでいる。(H26年度～県内1児相、1施設持ち回り)

機 関 名	内 容	参 加 者 数
五所川原児童相談所	里親講演会「里親が語る子育て 発達障害・知的障害」	50名
美 光 園	「里親ってなんだろう？」	33名

#### (2) 養育里親研修・養子縁組里親研修

家庭での養育を必要とする児童を受け入れる里親として必要な基礎的知識や技術の修得を行うとともに、その資質の向上を図ることを目的として、年2回、養育里親・養子縁組の新規登録時に「基礎研修」「登録前研修」、養育里親登録の更新時に「更新研修」を実施している。

養子縁組里親登録については、平成29年度から研修受講が義務付けられたものであり、平成29年度に限り、既に登録済の養子縁組里親も研修を受講している。

研 修 名	会 場	参 加 者 数
<前期> 基礎研修 登録前研修	中央児童相談所・藤聖母園	8名
	中央児童相談所・藤聖母園	8名
<後期> 基礎研修 登録前研修	八戸児童相談所・あけぼの学園	7名
	八戸児童相談所・あけぼの学園	9名
<前期> 更新研修	中央児童相談所・弘前愛成園	5名
<後期> 更新研修	八戸児童相談所・あけぼの学園	3名
養子縁組里親研修 (全4回)	①②中央児童相談所	①16名 ②9名
	③アピオ青森	18名
	④八戸児童相談所	17名

## 4 関係機関との連携状況

### (1) 各種研修会への講師等の派遣

関係機関との連携強化のため、関係機関が主催する会議や研修会において積極的に講師等を派遣している。平成29年度の派遣状況は下記のとおりである。

研修会等名称等	開催地	内 容
単位民児協会長研修会	野辺地町	県内の児童問題の実態と児童委員活動について
幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	青森市	児童虐待の現状と関係機関との連携の在り方
初任者研修・生徒指導基礎講座	青森市	安全・安心な生活を支える児童相談所の機能
青森少年鑑別所拡大研修会（第1～3回）	青森市	動機づけ面接法
児童福祉司任用前講習会	青森市	子ども虐待対応の基本
教員・保育施設職員研修会	青森市	児童虐待の現状の理解、対応について
県下少年補導職員研修会	青森市	児童相談所と警察の連携強化について
地域生徒指導連絡協議会合同会議	青森市	児童相談所の業務について
子供のSOS緊急対応研修講座	青森市	関係機関との連携
県立学校中堅教諭等資質向上研修	青森市	関係機関との連携
青森市教育委員会少年指導員研修会	青森市	児童相談所と地域、学校との連携
児童福祉司任用後研修	青森市	子ども虐待対応
要対協調整担当者研修	青森市	子ども虐待対応
児童福祉司任用後研修	青森市	子ども虐待対応

### (2) 実習生、見学者の受け入れ状況

関係機関の職員や福祉を学ぶ学生を積極的に受け入れ、見学者の案内や実習指導、研究事業への協力等を行っている。

実 習 等 名 称 等	参加人員	内 容
児童相談所見学会（児童福祉週間関連）	2日間 3回開催 計95人	児童相談所の概要説明、所内見学（一時保護所も含む）
青森県警察学校初任補習科学生新任職員教養研修	5人	児童相談所の概要説明、所内見学（一時保護所も含む）
青森地方裁判所司法修習	2人	児童相談所の概要説明、所内見学（一時保護所も含む）
弘前大学人文社会科学部施設見学	27人	児童相談所の概要説明、所内見学（一時保護所も含む）
社会福祉基礎実習Ⅱ（青森県立保健大学）	5日間 3人	講義（児童相談所の業務）、所内見学（一時保護所も含む）、施設見学等
家庭裁判所調査官関係機関特別研究	4日間 1人	各課との情報交換、援助方針会議出席、一時保護所見学等
弘前大学大学院教育研究学科臨床心理実習	5日間 2人	講義（心理検査、心理治療の概要）、一時保護所見学